

# 公共施設再配置ワークショップ ～第2回～

日時：平成27年2月6日（金）  
午後7時30分から

場所：関市役所 6階 大会議室

## ◆◆本日の予定◆◆

1. 開 会
2. 前回のおさらい
3. 先進的な取組事例の紹介など
4. グループワーク『再配置モデルの検討①』
5. 閉 会

関市役所 市長公室 秘書広報課

〒501-3894 岐阜県関市若草通3丁目1番地

TEL 0575-23-7710(直通) FAX 0575-23-7744

E-mail [hishokoho@city.seki.lg.jp](mailto:hishokoho@city.seki.lg.jp)

# 関市公共施設再配置ワークショップ

## 1. この会議の目的

関市の身の丈に合った持続可能な公共施設の形づくりを目指して推進している公共施設の適正な配置及び効率的な管理運営を実現するため、市民の主体的な参画と協働による公共施設再編のあり方について検討を行うため「関市公共施設再配置ワークショップ」を実施します。

このワークショップでは、白書や再配置方針の位置づけを踏まえ、市民目線で次の2点を主眼に置いた実践的な検討を行うことにより、公共施設再配置計画を策定する際の基礎資料として活用し、計画に反映していくものです。

### ■共通認識の醸成

- 白書や再配置方針などに関する情報の共有やワークショップによる具体的な検討作業を通して、再配置に向けた考え方や取り組みの経過、概要などについて、参加した市民の皆さんに理解を深めていただくとともに、その他大勢の市民の皆さんの意識や関心に波及するきっかけとしていきます。

### ■市民目線による課題やアイデアの把握

- 身の丈に合った持続可能な公共施設の形づくりを目指し公共施設の再配置を進めていくにあたって、多様な市民の目線・立場にたった問題点や不安、ニーズや期待などを把握するとともに、公共施設の有効活用やサービス向上に向けた多彩なアイデアや提案を収集することで、市民の皆さんに受け入れられやすく希望あふれる再配置計画の策定につなげていきます。

## 2. 全体スケジュール

開催日時・内容		成果目標
第1回	1月16日（金） 「公共施設の現状を知ろう」	・公共施設再配置の必要性や関市の取組等の共有 ・検討対象エリア内の施設の問題点・課題等の確認
	・白書・基本方針の情報提供 ・他自治体での取組事例の紹介 ・公共施設の評価（グループワーク）	
第2回	2月6日（金） 「再配置モデルの検討①」	・検討対象エリア内の公共施設の再配置に向けた具体的な方向性を検討し、再配置モデル（配置イメージ）を提案（多様な市民の目線・立場にたった検討）
	・再配置モデル計画の検討 ・グループワークの中間発表	
第3回	2月20日（金） 「再配置モデルの検討②」	
	・再配置モデル（配置イメージ）の作成 ・グループ提案の発表・意見交換	

# 本日の内容と進め方

前半

- 19:30～ 1. 開会 司会：秘書広報課
- 19:35～ 2. 前回のおさらい  
・説明（コンサルタント）
- 19:45～ 3. 先進的な取組事例の紹介など【約 15 分】  
・説明（アドバイザー）

後半

## 20:00～ 4. グループワーク『再配置モデルの検討①』【約 90 分】

### グループワークの進め方(再配置モデルを検討する目的)の確認・共有

<約 55 分>

#### ステップ① 再配置モデルの検討

- 各グループの対象施設について、“約 20 年後の関市”を想定し、公共施設の適正な配置（関市の身の丈に合った持続可能な公共施設の形づくり：過大な公共施設面積の削減など）に向けた再配置モデルを検討します。
- 具体的には、対象施設（「施設・建物」と「サービス・機能」）について、前回の検討成果も踏まえ、以下の作業を行います。

「廃止」 ⇒ カードを取り除く（廃止スペースに移す）  
「売却・民営化」⇒ カードを取り除く（民間スペースに移す）  
「集約・複合化」⇒ カードを移動（他の施設カードへ移す）

<約 10 分>

#### ステップ② 再配置による効果の確認

- 検討した再配置モデルについて、各カードに記載の数値をもとに効果を確認します。

<約 15 分>

#### ステップ③ 話し合いの結果を発表

- 各グループが話し合った結果を発表し、全体で共有します。

#### アドバイザーからの講評

- 21:30 5. 閉会  
・次回の開催日時・会場の確認、会議内容のお知らせ など

# グループワーク『再配置モデルの検討①』

施設評価の結果をふまえ、施設の維持保全・複合化等による有効活用、無駄・不要な施設の廃止、民営化・売却など多様な手法を用いて、エリア内の公共施設の再配置に向けたシミュレーションを行う。

## ＜検討の視点＞

現在のエリア内にある公共施設（施設、機能）の20年後のあるべき姿をイメージして再配置のあり方をシミュレーションします。

◎関市公共施設再配置基本方針では、平成75年度（2063年度）までに、公共施設の延べ床面積を35%削減することを目指しています。

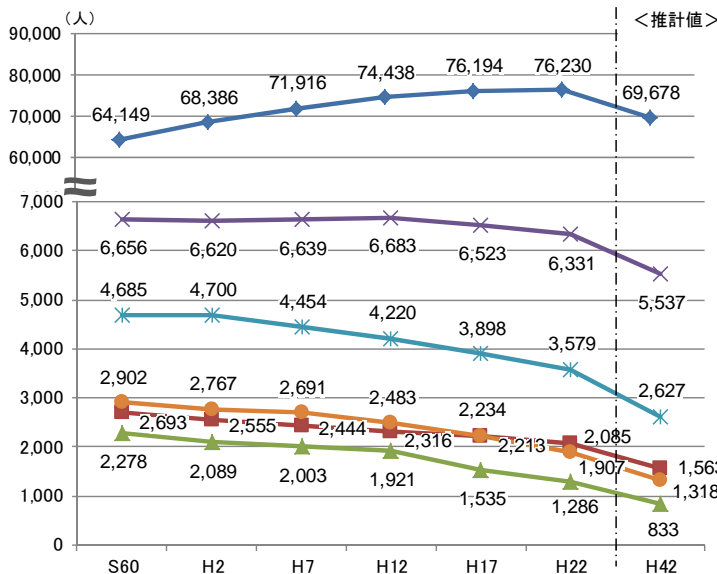
◎今回のシミュレーションは、この目標を参考にしながら、過大な公共施設面積を適正な規模に改善していき、身の丈に合った持続可能な公共施設の形づくりを検討することが目的です。行政サービスを減らす・なくすことが目的ではありません。

◎市民の皆さんが、どのような視点・理由で、そのような再配置モデルを検討したのか、そのプロセスを確認・共有することが重要と考えています。そのため、再配置モデルを考えた理由についても、付箋に記入して残すようにしてください。

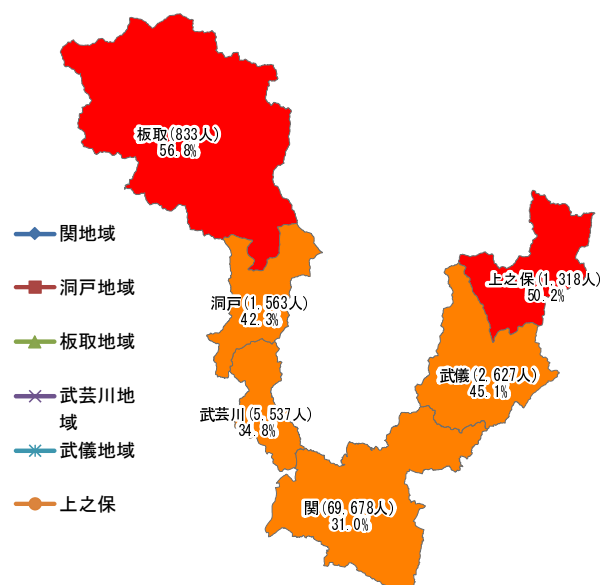
## ＜関市の20年後＞

今後も一層の人口減少が見込まれ、少子高齢化もさらに進むと想定されます。1万人近く減少し、高齢化率は32.5%まで増加する見込みです。

《地域別人口の推移》



《地域別の高齢化率の見込み》



## ●作業イメージ

施設カード 10

機能カード

機能カード

◆各グループで検討を行う公共施設（対象施設）について、左記のようなカードを用意します。

◆カードは、前回と同様に【施設カード（建物・ハード）】と【機能カード（サービス・ソフト）】から成っています。

【施設カード】は、建物の「大きさ」と「建築年数」によって区分されており、建物規模に対応したポイント（数字）が記されています。

## ●カードの動かし方（ルール）

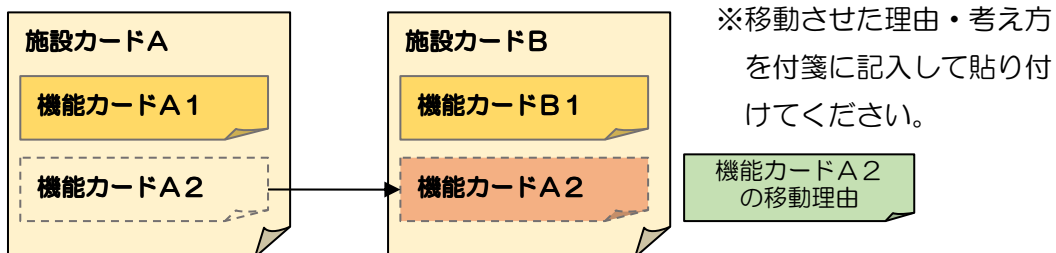
◆【施設カード】と【機能カード】は、以下の区分にそって、それぞれ別々に動かすことができます。

「廃止」 ⇒ カードを取り除く（廃止スペースに移す）  
 「売却・民営化」⇒ カードを取り除く（民間スペースに移す）  
 「集約・複合化」⇒ カードを移動（他の施設カードへ移す）

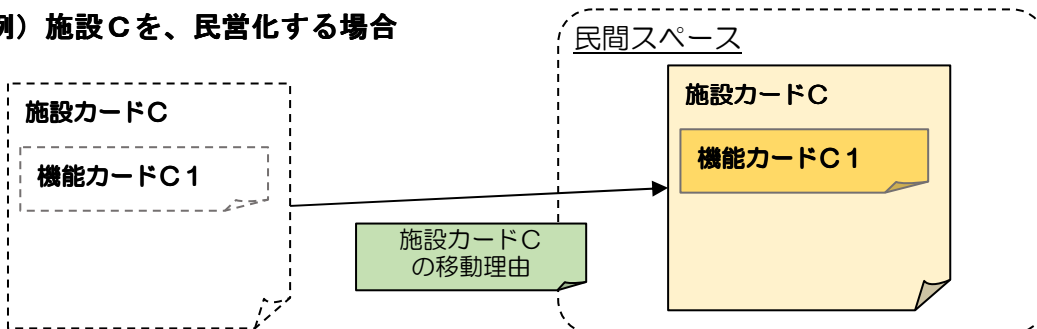
◆【機能カード】は、「廃止」「売却・民営化」「集約・複合化」のすべての移動をすることができます。

◆【施設カード】は、カード上に【機能カード】が無くなったときのみ「廃止」することができます。

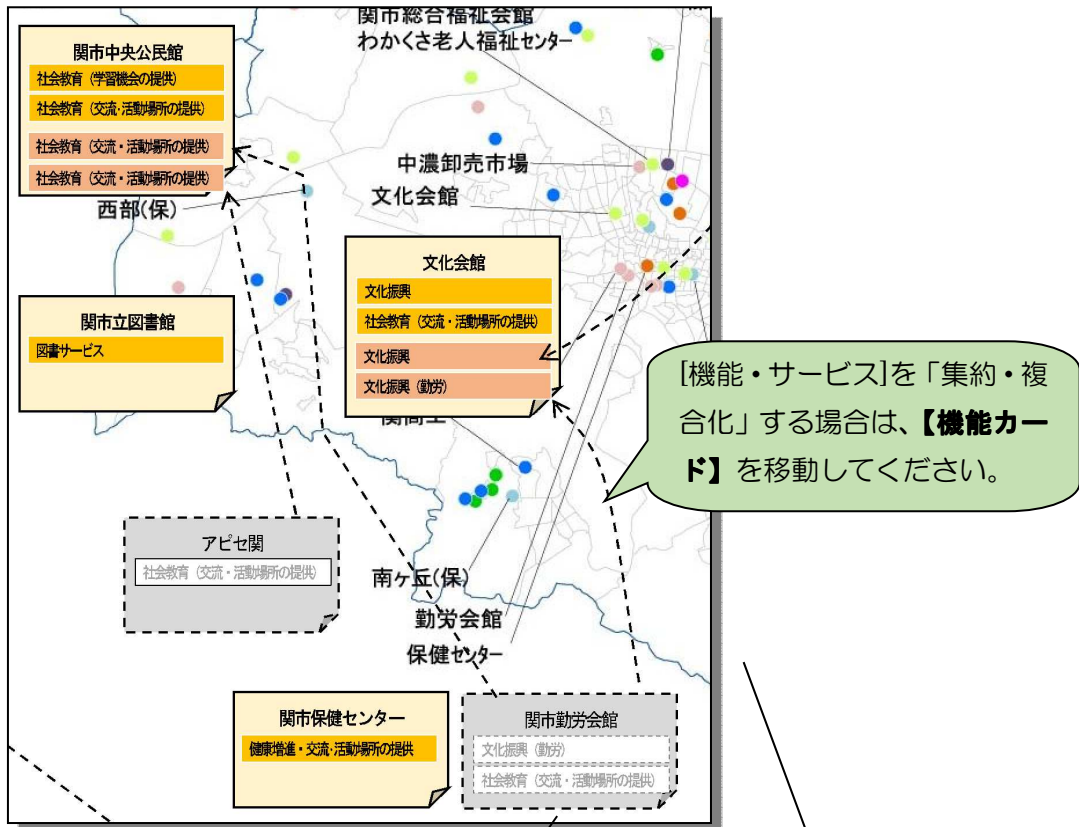
### （例）施設Aの[機能A2]を、施設Bに集約する場合



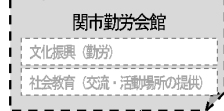
### （例）施設Cを、民営化する場合



●作業イメージ（成果のとりまとめ方の一例）

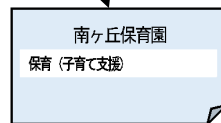


廃止スペース



【機能カード】が無くなった【施設カード】は「廃止スペース」に移動することができます。

民間スペース



民営化した方が良い場合は、【施設カード】【機能カード】を「民間スペース」に移動することができます。

※これはあくまでとりまとめイメージの参考です。  
上記の内容にかかわらず自由に検討してください。



